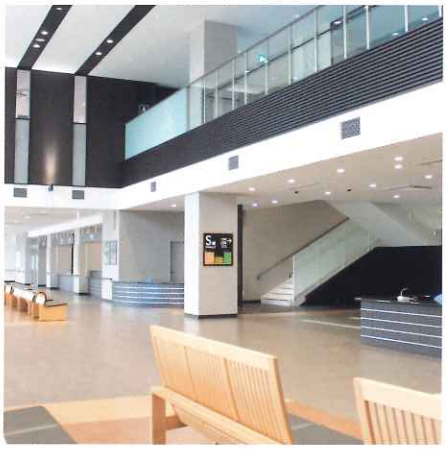

# 臨床研修医・専攻医募集案内

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 誠意を以って最善をつくす

## 誠意を以って最善をつくし、
## 地域のしあわせを護りつづける医療人となるために

理事長メッセージ

『誠意を以って最善をつくす』

当院の開設当時（1982年）からの基本理念です。

プロフェッショナルとして、目の前の患者さんに“最善をつくす”ことはもちろん、そこに“誠意”があるかどうかが非常に大切なことです。

患者さんは、医師を頼って病院に訪れます。それにも関わらず、医師から「私はあなたを治せません」と言われたらどう思うでしょうか。とても辛いことです。研修医の先生方には、「助けてほしい」と頼ってきた患者さんを目の前にして、決して「逃げない」「あきらめない」「見捨てない」医師になってください。

そうした医師になるためには何が必要なのか。

その一つが“現場力”です。幅広い知識や高度な手技力を習得しても、実際の臨床現場で活かすことができなければ意味がありません。高度化する医療現場では、医師や多職種がそれぞれの専門性を最大限に発揮できるチーム医療が重要となります。学んだ知識や手技を臨床現場で活かすために、相手の気持ちを考え、理解し、価値観を尊重するといったコミュニケーション能力もしっかり身につけてください。

さらに、強い探求心をもって何にでもチャレンジし、さまざまなことを貪欲に吸収していく姿勢も重要です。例えば「私は内科医を目指しているので産婦人科は関係ない」のではなく、産婦人科も学ぶことで、妊娠さんが服用しても問題のない薬がわかるなど、医師としての幅を広げることができ、それだけあなたが救える患者さんの幅も広がるのです。

そして、経験の浅い研修医のみなさんが患者さんに対して何もできないかというと、決してそうではありません。私はよく研修医の先生方に、「一日に5回は入院患者さんの元に行くようにしよう」と言っています。患者さんは手術や治療、それ以外にもいろいろと悩みを抱えています。患者さんは外来や手術で忙しい上の先生たちに、悩みを相談したり、気持ちを吐露することは難しいかもしれませんが、自分の元によく来てくれる研修医の先生にはできる。悩みや気持ちを聞いてあげることで患者さんが大きく救われることもあるはずです。

研修医だからといって何もできないのではなく、研修医であるからこそ、できることがあるのです。

「困っている患者さんが目の前にいる。何とかして助けてあげたい」。当院では、そんな熱い思いをもって医師を目指し、医学部に入学した初心を大切にできる先生を歓迎します。

常に『誠意を以って最善をつくす』を胸に、当院の研修で、地域のしあわせを護りつづける医療人となるために大きく成長してください。

医療法人社団 筑波記念会
理事長　**小關 剛**

## 医療法人社団筑波記念会

DATA

| | |
|---|---|
| 病床数 | 487床 |
| 医師数 | 95人 |
| 指導医数 | 臨床研修 40人<br>専門研修 29人 |
| 研修医数 | 臨床研修医 14人<br>専攻医 9人 |
| 外来患者数 | 871人/日 |
| 入院患者数 | 379人/日 |
| 手術件数 | 13件/日 |
| 救急外来患者数 | 20人/日 |
| 救急車搬送患者数 | 11人/日 |
| 心肺停止状態搬送患者数 | 52人/年 |

# 臨床研修プログラム

地域第一線急性期病院ならではの豊富な症例に基づく、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけるとともに、医師としての人格を涵養します。

## POINT 1 将来の進路に合わせた選択性の高いプログラム

各々の進路、希望に合わせた研修スケジュールを実現します。研修医の要望によっては研修開始後でもスケジュール変更が可能です。

## POINT 2 研修医のニーズに応じた指導

数多くの手技は指導医のもと段階を追って経験できます。他の診療科でも稀な処置等があると声をかけてもらえます。研修医が学びたい、経験したいことを病院全体でサポートします。

## POINT 3 臨床能力の向上をめざす教育

年一度の院内学術集会に加え、学会発表の機会もあり、上級医のサポートを受けながら研究に取り組むことができます。救急科研修ではカンファレンスでのプレゼン、ディスカッションを通じてアセスメント能力を身につけます。

## POINT 4 志の高い仲間

当院には国内外の大学から多種多様なバックグラウンドを持った人材が集まっています。現役、社会経験のある人等志の高い仲間たちと日々切磋琢磨し、医師として成長します。

## 研修プログラム（例）

【協力型病院および協力型施設】筑波大学附属病院、東京医科大学茨城医療センター、JAとりで総合医療センター、水戸済生会総合病院、茨城県立こども病院、ホスピタル坂東、日本医科大学付属病院、東京医科大学病院、福島県立医科大学附属病院、小山記念病院、つくば在宅クリニック、小豆畑病院、筑波総合クリニック、つくばケアセンター、つくば保健所

### 1年次

産婦人科・小児科・精神科：大学病院又は市中病院より選択

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科（6ヵ月） | | | | | | 救急科（3ヵ月） | | | 麻酔科（病院必修）（1ヵ月） | 外科（1ヵ月） | 外科（病院必修）（1ヵ月） |

### 2年次

産婦人科・小児科・精神科：大学病院又は市中病院より選択

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 産婦人科（1ヵ月） | 小児科（1ヵ月） | 精神科（1ヵ月） | 地域医療（1ヵ月） | 選択科（8ヵ月） | | | | | | | |

## 指導医からのメッセージ

臨床研修プログラム責任者　**阿部 智一先生**

当院では急性期医療だけでなく、リハビリ医療、慢性期医療、在宅医療、予防医療、介護施設など幅広い領域におけるシームレスな研修が可能です。経験豊富な指導医が直接指導にあたるだけでなく、各診療科・各職種の垣根を超えた風通しの良いカンファレンスを行うなど、病院全体で研修医の成長をバックアップしています。研修プログラムは柔軟性に富み、研修医の希望と各スタッフの意見を迅速に反映しながら、一体となってより良い教育環境を目指しています。

臨床研修はもちろんのこと、症例発表や抄読会などの学術的なプログラムにおいても充実を図り、両面のバランスがとれた経験を積むことができます。「質の高いスペシャリスト」へと繋がる「ジェネラリストとしての基盤」が築けるように支援します。



# 臨床研修医の声

## 豊富な経験と充実の指導体制で、着実な成長を実現

臨床研修医1年目　**塙 史帆 先生**

出身地 ／ 茨城県
大学名 ／ 琉球大学（2022年卒）

当院を研修先に選んだ理由は、将来、整形外科を志望しており、整形外科に強く、かつ、研修医でも執刀できる実践的な研鑽が積めること。さらにリハビリテーション機能の充実度も全国トップレベルであり、術後経過もしっかり診ることができる環境だったからです。

幅広い症例の初期対応を習得できる救急研修では、プレゼンテーションやカルテの書き方もしっかり学ぶことができ、将来、どのような医療機関で働こうとも通用する、確かな実力を獲得できます。上の先生方は程よい距離で見守ってくださり、アドバイスも的確ですし、個々の能力に応じた課題を与えてくださるなど、着実に成長できる指導体制も魅力です。院内の雰囲気も抜群に良く、連携も密でチーム医療に優れた環境も素晴らしいと思います。

**OFFの過ごし方**

ゴルフ！ショッピング！

ゴルフの練習やコースをラウンドしています。
また、友人と都内へランチや買い物にもよくいきます。

## 実践的な研修で、早くから確かな手技力を習得

臨床研修医2年目　**岡口 和也先生**

出身地 ／ 茨城県
大学名 ／ 宮崎大学（2021年卒）

心臓外科医を目指しており、出身地である関東で心臓外科に強い病院を探していました。条件に合った10病院ほどを見学した中で、最も雰囲気の良い当院を選びました。2年間を過ごす病院の雰囲気が自分に合う、合わないは、非常に大切だと思います。

当院は教育熱心な先生が多く、手技も早期から実践的に経験することができます。CVやAラインといった手技を早い段階から一人でもできるようになり、他の病院に行った際には、研修医の先生たちから「もうできるようになったの」と驚かれたほどです。

上級医の先生方との関係性も良く、他科との連携もスムーズでコンサルもしやすいなど、働きやすさも当院の魅力です。

**OFFの過ごし方**

ピアノ！筋トレ！

幼少から続けているピアノを弾いたり、自宅に筋トレ器具を購入し筋トレに励んでいます。

# 専門研修プログラム

当院は基幹施設として内科・外科・救急科・リハビリテーション科4つの専門研修プログラムを展開しています。
県内外の医療機関と連携し、充実した専門研修が行える教育・診療体制を兼ね備えています。

## 内科

【筑波記念病院(基幹病院)】消化器内科、循環器内科、血液内科、代謝・内分泌内科、呼吸器内科、神経内科より選択　【連携施設①～④】筑波大学附属病院、東京都立墨東病院、東京医科大学茨城医療センター、きぬ医師会病院、龍ケ崎済生会病院、協和中央病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックより選択

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年目 | 筑波記念病院(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 連携施設①(6ヵ月) | | | | | | 連携施設②(6ヵ月) | | | | | |
| 3年目 | 連携施設③(6ヵ月) | | | | | | 連携施設④(3ヵ月) | | | 筑波記念病院(3ヵ月) | | |

### 指導医からのメッセージ

内科専門研修プログラム責任者　**長澤 俊郎先生**

当院の標榜科目は30科、内科系には循環器内科(指導医5名)、消化器内科(指導医5名)、血液内科(指導医3名)、呼吸器内科(指導医1名)、糖尿病・内分泌代謝内科、神経内科(指導医1名)があり、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能が修得できます。全国的でもトップレベルにあるリハビリテーション機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど内科疾患別リハなどの併用により、患者さんの退院後のQOLの向上に大きく寄与しています。地域に密着した地域医療の中核をなす当院でのプライマリ・ケアを核とした内科専門研修は、高度な内科臨床能力を基礎にした、患者さんに寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有しています。

## 外科

【筑波記念病院(基幹病院)】消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科より選択　【連携施設①～⑥】東京医科大学茨城医療センター、小豆畑病院、茨城県立こども病院、北茨城市民病院、川崎胃腸科肛門科病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックより選択(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科より選択)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年目 | 筑波記念病院(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 連携施設①(3ヵ月) | | | 連携施設②(3ヵ月) | | | 連携施設③(3ヵ月) | | | 連携施設④(3ヵ月) | | |
| 3年目 | 連携施設⑤(3ヵ月) | | | 連携施設⑥(3ヵ月) | | | 筑波記念病院(6ヵ月) | | | | | |

### 指導医からのメッセージ

外科専門研修プログラム責任者　**上田 和光先生**

当外科専門研修プログラムでは、ジェネラリストとしての基盤を持つスペシャリストの育成を目的とし、地域第一線病院としての日常診療の中、診療科間の枠を極力排除し、可能な限り幅広い医療を経験できます。数多く受診される急性期の患者さんを通して、専門的な検査・治療を経験できるよう、また、本人の希望、意欲に応じて研修病院、研修科目を選択できるよう配慮しています。研修の指導は、経験豊富で十分な学識と技術を有した、認定医・専門医資格を取得した医師が担当し、各診療科指導医から直接指導が受けられるだけでなく、風通しの良いコンサルテーション、垣根のないディスカッションを通して、専攻医の成長をバックアップします。

## 救急科

【連携施設】聖路加国際病院、浦添総合病院より選択

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年目 | 筑波記念病院(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 連携施設(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |
| 3年目 | 筑波記念病院(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |

### 指導医からのメッセージ

救急科専門研修プログラム責任者　**阿部 智一先生**

当院は地域のニーズに応える2次救急病院として、年間約4,000件の救急搬送を受け入れています。387床の急性期病棟に加え、100床の慢性期病棟の他、老健施設、健診センターなどの併設施設とはシームレスに繋がり、全人的医療を展開しています。多くのパターンに対応できる救急のCare Mix Modelは、高齢者が重きを占める、今後の日本の救急医療のモデルとなると考えています。本プログラムでは急性期～回復期～慢性期に至るまでの全てのセクションを体感でき、地域の救急医療サービスを学習することができます。また、3次救急から転院を受ける集中治療や専門医高密度による教育、研究も魅力です。

## リハビリテーション科

【連携施設①～④】帝京大学医学部附属病院、志村大宮病院、初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院、戸田中央リハビリテーション病院、霞ヶ浦リハビリテーション整形外科クリニック、ひたちなか総合病院、有田内科整形リハビリクリニックより選択

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年目 | 筑波記念病院(12ヵ月) | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 連携施設①(6ヵ月) | | | | | | 連携施設②(6ヵ月) | | | | | |
| 3年目 | 連携施設③(6ヵ月) | | | | | | 連携施設④(3ヵ月) | | | 筑波記念病院(3ヵ月) | | |

### 指導医からのメッセージ

茨城県地域総合リハビリテーション専門研修プログラム責任者　**伊佐地 隆先生**

私達のプログラムは、私立の地域支援病院を基幹施設として、地域に目を向けた総合的なリハビリテーションを指向した研修を組み立てられることが最大の特徴です。大学を基幹とする他のプログラムよりも、非常に自由度の高いプログラムを作ることができ、臨床各科との協力で多岐にわたる疾患に対し、年代も小児から高齢者まで、さらに病期についても回復期はもちろんのこと急性期から生活期、終末期までのすべてに渡り、医療のみならず介護領域まで多様なリハビリテーションを3年間で経験でき、バランスのとれたジェネラリストとしてのリハビリテーション科専門医になることができます。各年定員は2名です。早めに見学と相談にお越し下さい。



# 専攻医の声

## 医療環境や指導体制だけではなく、生活環境も魅力

専攻医1年目　**日浦 とき雄先生**
救急科専門研修プログラム

出身地 ／東京都
大学名 ／セゲド大学【ハンガリー】(2019 年卒)

当院は症例数が豊富で、救急車の受け入れ台数も救急スタッフも年々増加しており、急性期病棟におけるリハビリテーションのスタッフ数も日本で随一の規模を誇る病院です。

研修は自由度が高く、自分次第でいくらでも経験を積むことができますし、逆に一つひとつの症例にじっくりと取り組むこともできます。上の先生方は、かつてご自身が研修医だった頃の失敗やできなかった事を踏まえて、若い医師の立場に立った的確で分かりやすい指導をしてくださいます。

生活環境も魅力で、病院が位置する「つくば市」は都市発展が加速しており、都内へは「つくばエクスプレス」で1時間以内で行けますし、自然も豊かで、筑波山のハイキングでは四季折々の景色を楽しめるなどオフも充実した日々を過ごすことができます。

**OFFの過ごし方**

旅行と筋トレ!

旅行は好きでよく行きます。
最近、筋トレ始めて体鍛えてます!

## 将来、どの道に進んでも活躍できる、幅広い実力を獲得

専攻医1年目　**松本 佳奈先生**
外科専門研修プログラム

出身地 ／広島県
大学名 ／筑波大学（2020 年卒）

3年目も当院に残った理由は、指導体制が手厚く、実践的に多くの手技を経験でき、かつ、一つひとつの症例を丁寧に診ることができるなど、外科医としての実力を着実に獲得できるからです。

他の病院と比べると当直は忙しいかと思いますが、外科専攻医となった今、それがすごく良かったと実感しています。研修医時代にたくさんの症例数を経験したことで、専門外の骨折の患者さんが来ても整形外科の先生を呼ぶことなく初期対応ができるなど、当院でなら、診療科が揃っていない病院や、どの診療科に進んでも活かすことができる幅広い実力を獲得できます。

先生方はとても優しく、常に気に掛けてくださるなどとても心強く、安心して研鑽できる環境も大きな特徴です。

**OFFの過ごし方**

旅行!

旅行が好きで、まとまった休みが取れると早くから計画して一人旅にも行っちゃいます!

## 病院概要

| | |
|---|---|
| 名称 | 医療法人社団筑波記念会　筑波記念病院 |
| 設立 | 1982 年 2 月 |
| 理事長 | 小關　剛 |
| 病院長 | 長澤　俊郎 |

## 診療科目　30科目

内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液内科／神経内科／
糖尿病・内分泌代謝内科／アレルギー科／リウマチ科／外科／
脳神経外科／心臓血管外科／呼吸器外科／消化器外科／整形外科／
形成外科／小児科／小児外科／婦人科／精神科／皮膚科／眼科／
耳鼻咽喉科／泌尿器科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／
病理診断科／救急科／美容皮膚科

## 研修医出身大学

旭川医科大学／弘前大学／岩手医科大学／筑波大学／慶應義塾大学／
山梨大学／信州大学／宮崎大学／琉球大学／ハンガリー医科大学／
チェコ医科大学

## 処遇

- 身　分　常勤
- 給　与　1 年次 月額 350,000 円／モデル年額 5,000,000 円
  2 年次 月額 400,000 円／モデル年額 6,000,000 円
  3 年次 月額 550,000 円／モデル年額 8,500,000 円
  4 年次 月額 600,000 円／モデル年額 9,100,000 円
  5 年次 月額 650,000 円／モデル年額 9,700,000 円
  ※モデル年額には当直手当（4 回 / 月）が含まれます。
  その他該当者には当会規程による各種手当が支給されます。
- 諸 手 当　当会規程による
- 勤務時間　当会規程による
- 休　暇　有給休暇（初年度 10 日）、夏季休暇、年末年始休暇等
- 保　険　健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
- 宿　舎　あり
- 保育施設　あり
- 健康管理　年 2 回の職員健康診断
- 福利厚生　外来及び入院診療費補助、レストラン割引、
  併設スポーツジム割引、職員旅行、大忘年会他

## 採用情報

| | |
|---|---|
| 臨床研修医 | 10 名 |
| 専攻医 | 内科 3 名／外科 2 名／救急科 2 名／<br>リハビリテーション科 2 名 |
| 採用担当 | 増井・栗山（リクルートセンター） |
| 専用電話番号 | 029-864-6860 |
| 専用FAX番号 | 029-864-6860 |
| 専用HP | https://www.tsukuba-kinen-recruit.com/ |
| e-mail | recruit@tsukuba-kinen.or.jp |

## 交通案内・アクセスマップ

### つくば駅（つくばセンター）までのご案内

- 電　車　つくばエクスプレス（TX）　つくば駅下車
- 路線バス　JR 常磐線土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅から
  つくばセンター行「つくばセンター」下車
  （所要時間約 30 分）
- 高速バス　JR 東京駅八重洲南口 2 番のりばから
  つくば行「つくばセンター」下車（所要時間約 70 分）

**つくば駅より無料送迎バスを運行しています。**

### 車でお越しになる場合

- つくばエクスプレス（TX）つくば駅または研究学園駅から約 10 分
- 常磐道谷田部インター・桜土浦インターから約 25 分
- 圏央道つくば中央インターから約 15 分

**病院見学受付中**

お気軽にお申し込みください
詳細はホームページをご覧ください
https://www.tsukuba-kinen-recruit.com/entry/


筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL
〒300-2622　茨城県つくば市要 1187-299
TEL:029-864-1212
URL:https://tsukuba-kinen.or.jp/